

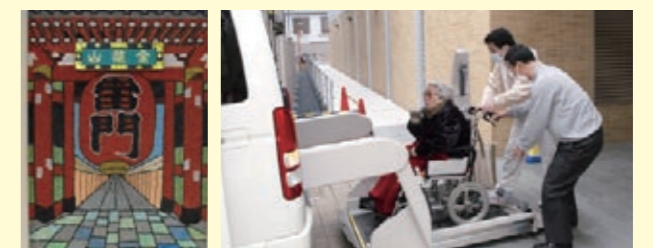
シリーズになるといいな…シリーズ



昨年は認知症セミナーのための寸劇を演じて好評をいただきました。
 今年は、高齢者の孤独死等のニュースが新聞紙上にたびたび掲載されていました。地域ぐるみで独居老人を見守ることはできないのでしょうか。湯本香樹実著の「夏の庭」からヒントを得て、当院職員がシナリオを書いた「気になる爺さん」を稽古中です。3人の少年とおじいさんが交流を深めてゆき、秋とともに別れがやってくる、そんなヒューマンストーリーを地域で公演できればと思っています。
 日本にもまだ残っている優しい物語をお届けしたいと、劇団員は毎週木曜日この稽古に頑張っています。
 乞うご期待。
 劇団代表 川合榮子

通所リハビリテーションから

おかげさまで、通所リハビリテーションも150名を超える皆さまにご利用いただいております。昨年に増して、今年度はリハビリメニューの充実にかを入れてまいりました。その一つとしてロールアートを制作し、台東区寿作品展に出品させていただきました。
 ロールアートとは、小さくカットした色画用紙を丸め、そのロールを絵の具に見立てて下絵に張って絵画にするものです。細かい作業に神経を集中させ、とても地道で根気のいる作業で、制作には約1年を費やしています。ご利用者の皆さまの頑張りを見せ、私たち職員も日々成長させていただいております。



ロールアート

受付カウンター横に、10月からこの絵がお目見えしました。玄関ロビーに飾られて大好評の絵画「行列」の作者で、栃木県佐野市在住の色鉛筆画家 安藤勇寿画伯にお願いして描いていただいた作品です。
 公益社団法人地域医療振興協会が管理運営する関東の4つの施設には、安藤画伯の絵画が数多くかけられています。どの絵にも日本の郷愁や優しさを感じられます。これらは、協会の吉新通理事長が安藤勇寿「少年の日」美術館の作品に感銘を受け、それぞれの病院のシンボルとなり、患者さんやスタッフの心の癒しとなるようにと願って飾るようになったものです。当病院の絵は、開設のお祝いに東京北社会保険病院から贈られました。
 あさがおは台東区の花であり、台東病院のシンボルでもあります。安藤画伯は、ご自分の心から発するものを描く画家で注文はお受けにならないということでしたが、このたび「ずっとこのまちで暮らし続けたい」を応援します—という当病院の理念をお話して、何かが描いていただきました。
 お近くにおいでの際にはどうぞご覧ください。 看護・介護部 総括部長 川合榮子

患者さんのこえ

検査室の近くにトイレがあると嬉しいです。気分が悪くなったり不安なことがあっても、すぐ近くにトイレがあると安心です。

ご返答 検査室用のトイレは、一般の方も利用できます。採尿と兼用ですが、一般の方も使用できるように、入口に「利用可能」の表示をいたしました。

この病院のリハビリは優秀なスタッフが揃っていると感じました。とても感謝しております。

ご返答 ありがとうございます。入院された方が住み慣れた自宅に帰るために、少しでもお力になれたらと思います。今後もいろいろな面でお役に立てるよう努力していきます。

「あさがお通信」は院内の各部署が編集を担当していきます。

異常気象の夏がいろいろなところで後遺症を残しています。

ようやく「あさがお通信」秋・冬号ができました。今号は看護部が担当しました。開院2年目は、院内の実践的マニュアルなどの見直しの年です。地域の皆さまのための病院として、千束の町にあることを認識し、あたたかく、質の良い診療内容と常に利便性を考えた病院にしてゆく努力を重ねてまいりたいと思います。

これからもどうぞよろしくお願いします。



台東病院・老健千束は「公益社団法人地域医療振興協会」の管理運営施設です。

地域医療振興協会は、地域医療を取り巻くさまざまな問題を解決し、へき地を中心とした地域保健医療の調査研究および地域医学知識の啓発と普及を行うことを目的に開設され、2009年12月1日より公益社団法人として新たにスタートしました。地域医療に対する意欲と実績を持つ医師を中心に、つねに地域保健医療の確保と質の向上など住民福祉の増進を図り、地域間での医療の不均衡の解消、地域の振興を推進しています。

あさがお通信

発行元：台東区立台東病院・老人保健施設 千束
 〒111-0031 東京都台東区千束3丁目20番5号/TEL 03-3876-1001



台東病院の役割を、改めて考える。



新生台東病院、老健千束も2回目の年越しを迎えようとしています。今年一年は施設にとつていろいろの勉強をさせていただいた年でした。特に周辺の医療機関との連携に関する会合を重ねるうちに、台東病院、老健千束に求められるもの、果たすべき役割というもの、職員にも徐々に理解され浸透してきたと感じています。中でも高齢者の医療、看護、介護の問題はまさにわれわれの中心的課題です。
 治療効果がなかなか期待できない認知症、一定の障害が残ってしまう脳卒中後遺症、余命が限られてしまう末期癌等々、患者さんやご家族にとつても医療者側にとつてもつらい病状の方々のケアを受け持つ機会が増えてきました。できれば自分はあるに過ぎないに遭いたくない、誰もがそう思う人生の終末期は、実は事故や突然死以外では避けて通れない誰もが通る道であることを、やはり真正面から受け止めるべきでしょう。
 最近、自らの死について考えるエンディングノートなるものが話題になっていくと耳にしました。死について忌み嫌うだけでなく、死について考える、学ぶ、受け入れる準備をするといったことはやはり誰にとつても必要なことでしょうか。病や障害を持つためにも、最後まで自分なりの豊かな生を全うするためには必須の作業かもしれません。
 「ずっとこのまちで暮らし続けたい」を応援します—という理念のもと、それぞれの患者さんの支えになるよう、新しい年もさまざまな取り組みを展開したいと思っています。

公益社団法人 地域医療振興協会
 台東区立台東病院
 台東区立老人保健施設 千束
あさがお通信
 asagao-tsushin
 2010 autumn・winter

台東区立台東病院
 台東区立老人保健施設 千束
 今年のテーマは『愛』

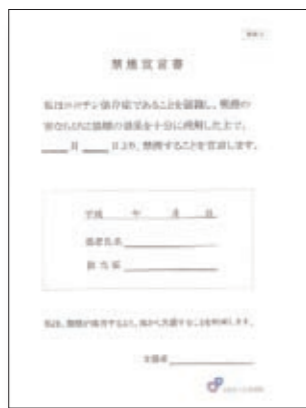
台東区立台東病院 管理者・病院長
 山田隆司



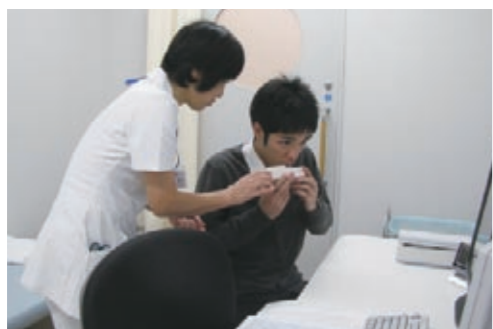
台東病院の新しい取り組み—禁煙外来・物忘れ外来—

平成 22 年 10 月より新たな試みを開始しました。

台東病院の新しい取り組み—禁煙外来・物忘れ外来をご利用下さい。



禁煙宣言書



禁煙外来の実績
 初回は、スクリーニングテストによってニコチン依存症であることが確認されたら、禁煙の宣言書(図)に署名していただきます。問診や必要に応じた検査を行い、禁煙補助薬を処方します。2回目からは、呼気一酸化炭素濃度を測定し(写真)きちんと禁煙できているかをチェックし、継続的な支援を実施します。
 薬剤なしで(気合いで)禁煙した場合の成功率は3ヵ月後40%、1年後15%、禁煙外来で薬剤を使った場合の成功率は3ヵ月後65%、1年後40%です。

禁煙外来とは?
 たばこをやめられない唯一の理由であるニコチン依存を、代わりの薬剤やニコチン自体を使って、徐々にすわなくてもすむ身体にしておくことです。禁煙外来では、ご本人の禁煙に対する固い決意を、医療スタッフ(医師・看護師・保健師)が専門の知識と技量でサポートし、禁煙を成功に導きます。健康保険が適用され、具体的には3ヵ月間の薬物治療と5回の診療を行って、合計の自己負担額は2万円程度です。

禁煙外来(月・火午後、完全予約制)

物忘れ外来の目的

当院では、まず一般の外来で「最近物忘れがひどくなった」「うちのおじいちゃん、認知症なんじゃないかしら」「こんなおかしい行動が始まっちゃったんです」といったご相談を承ります。またかかりつけ医の先生から「この方は認知症ではないだろうか」というご相談を受けます。そして必要と思われる場合に物忘れ外来で診療を行います。

物忘れ外来(月・水午後)

物忘れ外来の目的は、主に次の3つです。
 ■ 普通の物忘れなのか、認知症なのかを判断する
 ■ 治る認知症(正常圧水頭症、甲状腺機能低下症など)を見つける
 ■ 認知症の診断に必要な「問診」「心理検査」「血液検査」「画像検査」を行うことにより早期に診断を付けて適切な対策をとる

認知症への取り組み

台東病院・老健千束では、認知症への取り組みとして、次のようなことを行っています。
■ 病院
 物忘れ外来(月・水午後)
 専門外来(月午前)
 自宅におられる認知症の方の緊急入院
 再び在宅に戻られるまでの療養入院
■ 老健
 通所リハビリテーション
 入所介護(認知棟)



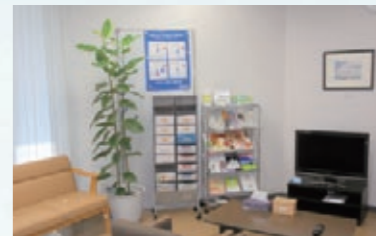
健診のご案内

健診とは?と問われたら「転ばぬ先の杖」と答えます。
 脳梗塞や、糖尿病で障害を持つことになると、あなた一人の頑張りではどうにもなりません。家族にも大きな負担がかかります。
 疾病の早期発見、特に生活習慣病は、小さな異常の段階で気づくことで予防が可能です。
 年に一回は検査を受けることが、あなたの大切な人々への、感謝の証だと思っています。
 健康こそ何物にも代えがたい大きな財産です。
 この機会に一人でも多くの方の健診をお勧めします。
 健康に生涯現役で素敵な人生をお送りください。どうぞ、ご案内申し上げます。



当院で受診できる健診

- ①協会けんぽ 生活習慣病予防健診
- ②当院オリジナル人間ドック
- ③若年層健診(法定健診)
- ④台東区人間ドック(補助金あり)
- ⑤台東区民健診(40歳以上の方)



当院の健診の特徴

- 最新の画像診断機器、コンピューターを利用した健診システムにて総合健診が受けられます。
- 総合診療科の医師が健診を担当します。総合診療科というのは、日々の暮らしの中で直面するさまざまな健康上の心配ごとについて、相手の視点に立って総合的に問題解決を図ろうという医師の立場を指しています。特定な臓器や疾患にこだわらないところが特徴です。そんな総合診療科の医師があなたの健康のお手伝いをします。



健診のながれ

- ①ご予約
 健診受付で直接、もしくは電話にてお申し込みください。
 健診室直通電話 03-5824-3540
 予約受付時間 13:30 ~ 16:30(土・日・祝日を除く)
- ②資料のお渡し、またはご送付
 問診票・検査の容器をお渡しします。電話申込みの方には郵送でお届けします。
- ③受付
 当日、健診受付(2階)までお越しください。
- ④検査
 コースに応じた検査を受けていただけます。内容により終了時間が異なります。
- ⑤報告書のご送付
 健診後、2週間ほどで検査結果を郵送いたします。



フォローアップ

健診の結果、異常が認められた場合は、保険診療にて当院外来を受診することも可能です。どこに受診してよいか分からない場合は、総合診療科の医師が相談に応じます。必要な場合は専門診療科に橋渡しをいたします。